

● 今月の新着図書 ●

議会図書室からのお知らせ(令和5年1月号)



『半農半X ~これまで・これから』
塩見 直紀 他【編】/創森社

農業とそれ以外の別の何かである「X」を両立して暮らしていこうとする考え方を「半農半X」。自治体によっては、移住や農業を始めるにあたって、様々な支援を提供してくれる。本書の編者、塩見直紀氏は、半農半Xの提唱者で総務省地域力創造アドバイザーを務めている。



『政治学者、ユーチューバーになる』
岩田 温【著】/ワック

以前はYouTubeを馬鹿にしていたのに、大学教員を辞めて、YouTubeチャンネルを開局してしまった著者。YouTubeは全体主義と闘うための道具だという。保守派政治学者である著者の、世論に迎合せず自身の主張や考えを述べた書。



『僕たちはメタ国家で暮らすことに決めた』
落合 渉悟【著】/フォレスト出版

戦争も貧困も搾取もない世界をブロックチェーンで実現する！ブロックチェーンの技術で実現する仮想国家というモデルを通してDAO(分散型自立組織)の真髄を学び、Web技術と人類の未来を予言する書。



『縛られる日本人~人口減少をもたらす「規範」を打ち破れるか』
メアリー・C・プリントン【著】/中央公論新社

人口が急減する日本。なぜ出生率も幸福度も低いのか。そこには、「規範」に縛られる日本人の子育て世代の姿が見えてきた。各国の若い世代へのインタビューとデータをもとに、アメリカを代表する日本専門家が緊急提言する！



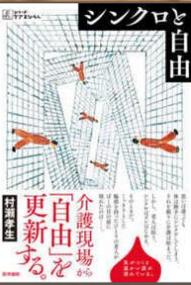
『トランスジェンダー問題 ~議論は正義のために』
ショーン・フェイ【著】/明石書店

トランス女性である著者が、トランスジェンダーの現実を幅広い調査や分析によって明らかにした書。事実に基づき社会変革に向けて開かれた議論を展開する、画期的な1冊。



『地銀消滅』
高橋 克英【著】/平凡社

人口減少、低金利、デジタル化により地方銀行が消滅の危機に追い込まれている。危機の理由はそれだけではない。なぜ、地銀は苦境に陥っているのか、金融アナリストがさまざまな角度から解説する。



『シンクロと自由』
村瀬孝生【著】/医学書院

「こんな老人ホームなら入りたい！」と熱い反響を呼んだNHK番組「よりあいの森 老いに沿う」。その施設長が綴る、自由と不自由の織りなす不思議な話たち。老人介護職に長年携わってきた著者の介護経験を、断片的に綴ったエッセイ集。



『糖質中毒~痩せられない本当の理由』
牧田 善二【著】/文藝春秋

「糖質、この必要にして害をなすもの。」痩せられないのは、意志の弱さに関係なく、糖質中毒に侵された脳のせいだという。そのメカニズムやそこから脱却する方法を、糖尿病の専門医である著者が伝授する。



『ケースで学ぶ議会・議員対応のきほん ~こうしておさえる自治体政策実現の勘所』
現代都市政策研究会【編】/公職研

議会・議員対応について、実例を学べる書。執筆メンバーの自治体職員としての実践をもとに、自治体のありようを変えていくイノベーションのヒントや、議会・議員対応の秘けつなどを解説している。

▶ トピックス「社会的な孤独・孤立」に関する書籍（既刊）



『死にたい』に現場で向き合う～自殺予防の最前』
松本 俊彦【著】/日本評論社

「死にたい」「助けて」、本当は生きたい。その必死の告白の背後にある思いをどう受け止め、支援するか。コロナ禍での自殺対策を問う対談を収載。



『集まる場所が必要だ～孤立を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場」の社会学』
エリック・クリネンバーグ【著】
/英治出版

当たり前にあるものとして見過ごされがちな場、図書館、学校、運動場、託児所…。孤立を防ぎ、命を守るために必要な、開かれた「社会的インフラ」としての重要性を説く。



『ひきこもりの真実～就労より自立より大切なこと』
林 恭子【著】/筑摩書房

従来「家事手伝い」「主婦」に分類されてきた女性や、性的少数者、困窮者など、ひきこもりの様々な実態に迫る。就労支援に限らず、当事者にとって真に必要な支援とは何か改めて考える。



『孤独は社会問題～孤独対策先進国イギリスの取り組み』
多賀 幹子【著】/光文社

2018年、イギリスは世界初の「孤独担当大臣」を設けた。その設立経緯から、イギリス社会に根付く弱者への思いやり、チャリティー団体の目配りなどを紹介している。

● 図書広報委員がおすすめる一冊 ●

10名の図書広報委員が毎月おすすめています！

『指導者の条件』

著者 : 松下 幸之助
出版年 : 2006年
出版 : PHP研究所



紹介者 : 金沢 充隆 委員

経営の神様と呼ばれた松下幸之助が、「自分の勉強のための教科書のようなもの」と語り、古今東西の歴史上の人物のエピソードを、指導者の心得として102の事例にまとめたものです。

組織論やリーダーシップ、決断や難局における心構えなど、時代が変わっても普遍的なテーマについて、松下幸之助が自らの経営体験をもとにした視点から様々な教訓を示しています。

それぞれの事例は見開き2ページで読み終わられるので、空き時間などに気軽に読むことができます。

組織のトップの立場にある人にとどまらず、仕事に、日常生活に、誰もが時代を生き抜く上において必要なヒントが詰まった一冊です。

次号では、秋山 健太郎 委員におすすめていただきます！

● 議会図書室のご案内 ●

- ▶ 利用時間
平日 8:30~17:15
- ▶ 図書・資料の貸出
冊数:3冊以内 期間:2週間
- ▶ 電話 027-897-2892 (内線2892) / (議)政策広報課

